



パラリンピック聖火フェスティバル

8月16日(月)、田辺スポーツパーク体育館でパラリンピック聖火フェスティバルが行われました。オープニングは、田辺高等学校吹奏楽部の演奏や南紀チアエンジェルスによるチアリーディングと共に本校の児童生徒による応援メッセージとダンスを動画で紹介しました。中学部の生徒は、みんなで元気いっぱい力強く声援を送りました。また、応援ソングであるパプリカのダンスは、夏祭りで踊っている小学部の子どもたちや学部を超えてダンスが好きな子どもたちのダンスを編集して、応援の気持ちを伝えました。会場のみなさんから大きな拍手をいただきました。



小学部は、夏祭りで動画を撮影しました。



夏季研修会「あがらの夏」

8月5日(木)、「特別支援を必要とする生徒の進路学習の現状と課題」をテーマに、熊野高等学校で通級指導教室を担当している坂東啓資先生に話題提供をしていただきました。校区内中学校の特別支援学級の担任の先生方をはじめとして、22名の方々が参加し、南紀高等学校の特別支援教育コーディネーターの先生方も来てくださいました。グループに分かれて、各校の進路学習の現状、課題についての情報交換会を行い、その後、本校高等部生徒の学びの様子、熊野高等学校の通級指導教室の取組について話題提供が行われました。



摂食研修(現職教育)

8月20日(金)、「発達障害児に対する摂食指導」というテーマで、南紀医療福祉センター言語聴覚士の松原加奈先生による講義と演習を各学部に分かれてリモートで行いました。

摂食行動の基本的な仕組みや摂食行動の発達を踏まえた安全な摂食指導についての講義や実際にお菓子や飲み物を使った体験、ビデオによる本校の児童生徒の事例研修をしました。具体的な指導・支援の方法を教えてください、大変有意義な研修でした。



防災研修会「身近なもので感染予防」

8月6日(金)本校の教職員を対象に、「身近なもので感染予防」をテーマに、幾島浩恵さんによる防災研修会を実施しました。幾島浩恵さんは、看護師、防災士でもあり、現在防災に興味関心にある方々と「出張!ふれあいルーム」で活動されています。今回の研修では、災害後生活を意識し、ダイバーパックの活用法の講演や実際に新聞紙で靴カバーやマスクを作ったり、ゴミ袋でエプロンを作ったりするなどのワークショップを行いました。災害後の生活を想定し、備えることの大切さを考える機会となりました。



作成した靴カバー、マスク、エプロンを着用しています。